



平成 18年 3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

平成 18年 2月 2日

(コード番号:5332 東大名福)

上場会社名 東陶機器株式会社

(URL <http://www.toto.co.jp/>)

代表者 代表取締役社長 木瀬照雄

問合せ先責任者 取締役常務執行役員経理部長 小野久雄 TEL (093) 951 - 2105

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 :有
(内容)減価償却の方法、法人税等の計上基準等
- ②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 :無
- ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 :有
・連結(新規) — 社 (除外) 2 社 ・持分法(新規) — 社 (除外) — 社

2. 平成18年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成 17年 4月 1日 ~ 平成 17年 12月 31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	361,711	0.6	18,275 △	23.3	16,427 △	26.8	8,294 △	22.4
17年3月期第3四半期	359,617	3.4	23,820	20.4	22,433	22.0	10,688 △	0.4
(参考)17年 3月期	484,191		30,419		28,704		13,058	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年3月期第3四半期	23.92		23.42	
17年3月期第3四半期	30.81		29.88	
(参考)17年 3月期	37.29		36.28	

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同期増減率を示しております。

【経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等】

当第3四半期(平成17年4月1日から平成17年12月31日まで)は、増改築需要の獲得に向けた販売活動を一層強化することにより、リモデル関連の売上は堅調に推移しました。しかし、新設住宅着工につきましては貸家や分譲住宅が伸長したものの、高付加価値商品の使用率の高い戸建住宅は減少し、普及価格帯商品のウェイトが高まったため、新築関連の売上は減少しました。

一方、海外では、販売体制の強化や新商品投入に努めたことにより、米国・中国を中心に売上は大幅に伸長しました。

これらの結果、当第3四半期の売上高は前年同期比0.6%増の3,617億1千1百万円となりました。しかし、利益面では、商品価格の下落や原材料価格の値上がり等の影響を受け、経常利益は前年同期比26.8%減の164億2千7百万円、当期純利益は前年同期比22.4%減の82億9千4百万円となりました。

[セグメント別の概況]

①建築用設備機器

<レストルーム商品>

便器のフチ裏をなくした「フチなし形状」と便器内をくまなく洗浄する「トルネード洗浄」は、高級タイプのウォシュレット一体形便器「ネオレスト」からタンク式便器「ピュアレスト」にまで適用範囲を拡大し、販売活動を強化推進しました。また、温水洗浄便座「ウォシュレット」は累計出荷台数2,000万台突破を記念した「トイレ川柳」を募集し、最優秀作品・優秀作品の20句を掲載したトイレトペーパー型の川柳集を出すなど、従来とは異なる認知施策を行いました。

<バス・キッチン・洗面商品>

浴槽を魔法びんのように冷めにくくする「魔法びん浴槽」は、戸建住宅用システムバスルームの主力商品である「フローピAKGシリーズ」や「バスピAKAシリーズ」をはじめ、マンション用ユニットバスルーム「JMシリーズ」「JPシリーズ」などにも適用し、売上は順調に伸ばしました。また、昨年9月に発売した、室内インテリアに融和する、オープンスタイルに最適なシステムキッチン「キュージア」は、「招いてもてなす」「楽しくつどう」など、お客様の期待以上の新しい生活スタイルを提案することで、順調に販売を伸ばしました。

<その他商品>

家事の効率化に役立つ食器洗い乾燥機「ウォッシュアップ」や浴室換気暖房乾燥機「三乾王」、洗面所で温風によって手を乾かすことができる「クリーンドライ」は、品揃えと顧客対応力を強化し、売上高は増加しました。

②その他

光触媒の分解性や親水性を応用した生活用品は品揃えを強化することで売上が伸びましたが、「エアスライド」「静電チャック」「大型精密セラミック部品」などのニューセラミックは需要の端境期にあたり、前年同期を下回りました。

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	463,780	213,441	46.0	615.53
17年3月期第3四半期	456,710	196,825	43.1	567.38
(参考)17年3月期	460,949	199,372	43.2	574.43

【財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等】

総資産は、前連結会計年度末に比べ、28億3千1百万円増加いたしました。主な内容は、投資その他の資産の増加105億2千4百万円、たな卸資産の増加98億5千3百万円、現金及び預金の減少189億6千6百万円などです。

また、負債の減少は、119億6千6百万円であり、これは、短期借入金の減少90億5千4百万円、退職給付引当金の減少28億4千3百万円などによるものです。

3. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
今回修正予想	492,000	22,000	12,000
従来予想	505,000	26,000	14,000

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 今回修正予想 34円 17銭 従来予想 39円 94銭

【業績予想に関する定性的情報等】

平成17年10月～12月までの3ヶ月間の連結業績は、販売競争の激化や商品の普及価格帯へのシフトによる影響が予想以上に大きく、売上高・利益ともに計画を下回りました。

このため、現在、コストダウンの強化・経費の削減などにより業績の改善に努めておりますが、市場環境は依然として厳しく、平成18年3月期通期の連結業績予想(平成17年11月4日発表)を上記のとおり、修正いたします。

なお、1株当たり配当金(期末6円・年間12円)につきましては変更ありません。

【添付資料】

1. (要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別		前連結会計年度		増減		(参考)前四半期	
	(平成18年3月期第3四半期末)		(平成17年3月期)				(平成17年3月期第3四半期末)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	金額	金額	構成比
(資産の部)		%		%				%
I 流動資産	209,066	45.1	218,597	47.4	△ 9,531	216,307	47.4	
現金及び預金	39,357		58,323		△ 18,966	46,480		
受取手形及び売掛金	85,460		85,728		△ 268	86,753		
たな卸資産	68,606		58,753		9,853	65,772		
その他	15,641		15,791		△ 150	17,300		
II 固定資産	254,714	54.9	242,351	52.6	12,363	240,402	52.6	
有形固定資産	165,117		163,126		1,991	162,420		
無形固定資産	14,289		14,442		△ 153	14,026		
投資その他の資産	75,307		64,783		10,524	63,955		
資産合計	463,780	100	460,949	100	2,831	456,710	100	
(負債の部)								
I 流動負債	150,494	32.5	158,869	34.5	△ 8,375	157,156	34.4	
支払手形及び買掛金	59,409		56,013		3,396	56,020		
短期借入金	33,248		42,302		△ 9,054	43,866		
コマーシャルペーパー	10,000		10,000		-	10,000		
その他	47,836		50,553		△ 2,717	47,268		
II 固定負債	88,223	19.0	91,814	19.9	△ 3,591	92,334	20.2	
転換社債	29,883		29,883		-	29,883		
長期借入金	2,154		2,745		△ 591	2,989		
退職給付引当金	54,830		57,673		△ 2,843	58,057		
その他	1,355		1,512		△ 157	1,404		
負債合計	238,718	51.5	250,684	54.4	△ 11,966	249,491	54.6	
(少数株主持分)								
少数株主持分	11,621	2.5	10,893	2.4	728	10,393	2.3	
(資本の部)								
I 資本金	35,579	7.7	35,579	7.7	-	35,579	7.8	
II 資本剰余金	29,366	6.3	29,364	6.3	2	29,292	6.4	
III 利益剰余金	152,520	32.9	148,515	32.2	4,005	146,144	32.0	
IV その他有価証券評価差額金	12,971	2.8	4,505	1.0	8,466	4,544	1.0	
V 為替換算調整勘定	△ 3,037	△0.7	△ 4,724	△1.0	1,687	△ 4,981	△1.1	
VI 自己株式	△ 13,958	△3.0	△ 13,867	△3.0	△ 91	△ 13,753	△3.0	
資本合計	213,441	46.0	199,372	43.2	14,069	196,825	43.1	
負債、少数株主持分及び資本合計	463,780	100	460,949	100	2,831	456,710	100	

2. (要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当四半期	前年同四半期	増減		(参考)
		(平成18年3月期 第3四半期)	(平成17年3月期 第3四半期)	金額	増減率	平成17年3月期 金額
I	売上高	361,711	359,617	2,094	0.6	484,191
II	売上原価	231,656	225,950	5,706	2.5	308,066
	売上総利益	130,055	133,666	△ 3,611	△2.7	176,124
III	販売費及び一般管理費	111,780	109,846	1,934	1.8	145,705
	営業利益	18,275	23,820	△ 5,545	△23.3	30,419
IV	営業外収益	2,565	2,436	129	5.3	3,575
V	営業外費用	4,412	3,823	589	15.4	5,290
	経常利益	16,427	22,433	△ 6,006	△26.8	28,704
VI	特別利益	553	38	515	-	42
VII	特別損失	1,208	3,098	△ 1,890	-	5,291
	税金等調整前四半期(当期)純利益	15,772	19,373	△ 3,601	△18.6	23,455
	法人税等	6,326	7,484	△ 1,158	-	8,666
	少数株主利益	1,151	1,201	△ 50	-	1,730
	四半期(当期)純利益	8,294	10,688	△ 2,394	△22.4	13,058

